

No.101 A WORD FROM ANOTHER WORLD



Celebrating Kindness Donna Rasalan Lampa

While the most popular occasion in the Philippines for the month of February remains to be Valentine's Day, there's a less known holiday that I hope more people will celebrate in the coming years not only back home but also here in Japan. It's Random Acts of Kindness Day or RAK Day for short. Have you heard of it?

As far as holidays go, RAK Day is quite new and is not rooted in any cultural or historical event. I only found out about it myself two years ago, when the muppet Elmo from Sesame Street came to my hometown as part of the show's global kindness campaign.

The Philippines observes RAK Day on February 17th, although some countries celebrate it sometime in November. On this day, everyone's encouraged to be a "RAKtivist" – to spread kindness in quiet and simple ways. To be honest, there's hardly any fanfare about it except for some news on TV featuring everyday heroes who have put up soup kitchens or are fighting for the environment. But those of us who celebrate it make it a goal to do good deeds for the people around us. We compliment a waiter who has served us well, pay for a stranger's coffee or train fare, book an in-home massage for our parents, or even babysit the children of a friend.

I don't think RAK Day will ever be as popular as Valentine's Day, but I am 100% convinced that kindness is worth celebrating, too.

【ちょっと豆知識】宮地晶子

セサミ・ストリートは、アメリカの教育番組。昔は日本でも人気で、♪Can you tell me how to get to Sesami Street?♪という主題歌で、私などは「~の行き方を教えてください」という表現を覚えたくらい。エルモはその人気キャラクター。マペットとは、マリオネットとパペットを合わせた造語です。今はYouTube動画で楽しむことができます。

親切な行為をたたえる ドナ・ラサラン・ランパ

フィリピンで2月に1番人気の行事と言えばバレンタイン・デーですが、他にも知名度は落ちるものの、フィリピンでも日本でもっと広まって欲しい祝日があります。それが「ランドム・アクト・オブ・カインドネス・デー」略してRAKデー。耳にしたことはありませんか。

祝日の中では、比較的新しく、文化的な背景や歴史的な何かに根ざすというものではありません。私自身も知ったのは2年前。テレビ番組セサミ・ストリートの「世界中に親切の輪を広げよう」キャンペーンの一環で、マペットのエルモが私の故郷にやってきた時です。

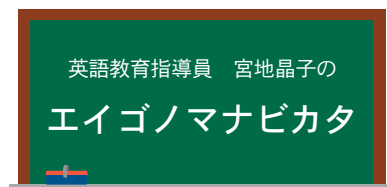
11月に行う国もあります。フィリピンでは2月17日。この日、人々は「ラクティブリスト」になるように奨励されます。それ

は静かにシンプルなやり方で親切を広めること。正直、この日にファンファーレが鳴るわけではありません。無料食堂を立ち上げたり、環境問題を戦う日々の英雄がニュースで取り上げられるくらいです。

でも私達が目指すのは、周りの人達に何かしてあげること。気持ちのいい接客をするウェイターを讃えたり、見知らぬ人のコーヒー代や電車賃を出す。両親の家にマッサージの予約をしたり、友人の子のベビーシッターだってします。

バレンタイン・デーほどは流行らないかもしれませんが、100%自信があるのは、親切な行為は行うに値するということです。

(訳:宮地晶子)



第168回

足の裏が私の体の中で一番臭い。

The back of my foot is the part of my body that smells the worst. 生徒が考えた英文です。「関係代名詞を使って」と指示を出したときのこと。いや〜、なんでそんな文を思いつくんですかね。ゲラゲラ笑っちゃう。そう言えば、うちの息子も中学生のとき、帰宅したら風呂場に直行でした。ちなみにこの生徒もケンケンで風呂場に直行、だそうです。で、英作文の話

ですが、彼のようにオリジナリティ溢れる英文を書く子なんて、実はほとんどいない。残念だなあ。でもま、それはそれでいいのです。どちらかと言うと「手も足も出ない」という状態で固まる生徒が圧倒的に多いのが悩みの種です。この英文が書けないのにもいろいろな理由があります。「何も思いつかない」から、とにかく「間違えるのが怖い」まで。そこで私は常日頃、「英借文」を奨励しています。1から自分で英文をひねり出すのは大変だから、似たようなのを借りてくる英借文。教科書やワークブックの英文をちょっとアレンジしてOK。まずはハードルを下げて、英文を書いてほしいという願いからです。最近では実用英語検定でも3級以上は、英作問題が出題されます。解答に割ける時間は10分ほど。悩み出したら時間切れ必至です。それなのに76点中16点という高配点。過去問題集などを参考に、準備する必要があります。そこで「英借文」の出番なのです。とにかく借りてくる、それをちょっとアレンジする。いろんな人が奨励しているこの考え方、少し気が楽になりませんか。